

2016年大涌谷 おすすめの 観察ポイント！



2015年6月末、大涌谷ではごく小規模な噴火が発生しました。この噴火は箱根では観測史上初めてのことで約800年ぶりの噴火と考えられています。2016年の大涌谷では2015年の噴火でできたばかりの火口と噴気孔、そして勢いのある蒸気井（温泉のための施設）を見ることができます。大涌谷で新しい火口を確認してみましょう。

大涌谷でお待ちしています！



箱根ジオミュージアム
学芸員 山口 珠美

2016年7月31日の大涌谷のようす



1 新しい火口

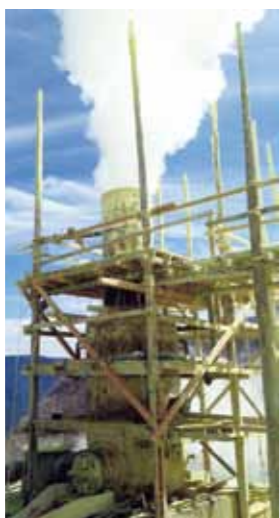
- 噴火してから2週間後に、マルチコプターで火口の様子を撮影したものです。火口の中にはお湯がたまっていて（湯だまり）、湯だまりの湯が噴気によって噴き上げられる様子も確認されました。現在では、湯だまりの湯はほとんどなくなっています。また火口の様子も、雨や風などの影響で少しずつ変わってきています。今後どのように変わっていくか、注目していきたいところです。



2015年7月14日撮影(伊豆半島ジオパーク鈴木雄介氏より提供)

3 蒸気井 (じょうきせい)

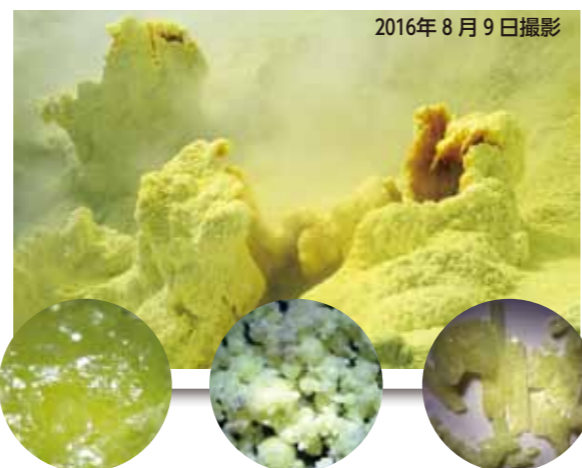
- 蒸気井は温泉の施設です。ここでは大涌谷の豊富な蒸気と仙石原からの水を利用して温泉を供給しています。2015年5月、蒸気井の蒸気の勢いが増しました。



2016年8月9日撮影

2 噴気孔 (ふんきこう)

- 噴気には硫化水素や二酸化硫黄等の硫黄の成分が含まれています。そのため噴気孔のまわりは硫黄で黄色くなっています。



顕微鏡写真(様々な形の硫黄の結晶) 噴気孔の周辺で採取



園地内のガス観測器設置場所

1 火山ガス観測器の設置

火山ガス観測器を園地内に5器、居住地に近い大涌谷橋に1器を設置し常時観測しています。

2 監視所の設置および火山ガスへの対応

箱根ジオミュージアム内に監視所を設置し、監視責任者1名が常駐し、各事業所の協力による4名の監視員とともにガス濃度の確認及び巡回監視を行なっています。

3 火山ガス・噴石等にご注意ください！

▲ 避難場所 ▲ 避難経路 ▲ 避難場所 ▲ 避難経路 ▲ 避難場所 ▲ 避難経路

項目	SO ₂	H ₂ S	その他	人への影響
注意	0.2 ppm	5 ppm	数分間以上	目や鼻の刺激、呼吸困難
注意	0.2 ppm	0.2 ppm	数分間以上	目や鼻の刺激、呼吸困難
注意	5 ppm	1.0 ppm	数分間以上	目や鼻の刺激、呼吸困難
注意	0.2 ppm	0.2 ppm	数分間以上	目や鼻の刺激、呼吸困難
注意	1.0 ppm	0.5 ppm	数分間以上	目や鼻の刺激、呼吸困難

園地内で掲載しているパネル

3 避難場所の表示や注意喚起の実施

各施設に火山ガスや噴石等に注意するようパネルを掲示しています。また、高感受性者対策として、ロープウェイや駐車場の利用者へ多言語のチラシを配布するほか、県道沿いに注意喚起の看板を設置し周知を行なっています。



園地内放送設備

5 放送設備の整備

観光客等へ緊急情報等を周知するため、放送設備を整備し、多言語での情報提供を実施しています。

4 救急救命講習の実施

園地内施設全従業員が救急救命講習を受講しました。

6 その他

安全対策について現地でも多言語によるアンケート調査も実施しています。開放後1か月分の調査結果では、火山ガスの発生や危険性については多くの方が認識していましたが、高感受性者の対応については周知が十分に届いていない結果が出ましたので、今後も広く周知していきます。

今後の火山対策について

現在、大涌谷園地内にはガス観測器が設置されていますが、年度内にも箱根ロープウェイ、早雲別荘地におよび早雲山駅、を設置し、より広い範囲でガス観測ができるよう整備する予定です。

また、すべての観測器からのデータを統一的に収集観測できるシステムを構築し、安全対策を進めます。現在も閉鎖となっている自然研究路とハイキングコースの一部については、既に開放している園地のエリアと比較すると、依然としてガス濃度が高い傾向があることから、今後のガス濃度の推移について慎重に見極めながら、必要な安全対策を整え、開放時期等を検討していくこととなります。

大涌谷への観光について重要なお知らせ

大涌谷火口周辺は、火山活動の影響により火山ガスが発生しています。

次の方は生命に関わりますので、大涌谷園地に立ち入ることができません。

- アレルギー性ぜんそくの方
- 気管支疾患の方
- 呼吸器（肺）疾患の方
- 心臓疾患の方
- 心臓ペースメーカーを装着した方
- 体調不良の方

上記の該当者は次の点に注意してください。

- ①マイカー等で大涌谷駐車場へお越しの場合、マイカー等から園地に降りることができません。
 - ②大涌谷経由の路線バスを利用される場合、大涌谷バスから降りることができません。
 - ③大涌谷駅へのロープウェイにはご乗車できません。
- ※なお、大涌谷園地内で体調が悪くなった場合は、お近くの監視員や従業員に声をかけてください。